

平成 29 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

秩父産間伐材を利用した自然素材ウッドチップ舗装の 普及活動 (H27~H29)

一般社団法人 間伐材ウッドチップ舗装協会

事業の目的・内容

秩父の間伐材を使った自然素材のみの遊歩道づくりの普及活動を行っています。産業廃棄物を出さず、木材の利用が促進できる技術です。都市部での木材利用により、アスファルトとは違う効果があります。冬暖かく夏涼しいエネルギー効率向上、ヒートアイランド現象の抑制など、地球環境の改善に貢献します。

今までの活動状況

平成 29 年度は、公共工事や民間の建設工事ではなく、自然保護団体や緑化活動を支援する目的で、普及しやすい価格で提供できる技術を開発しています。

今までは専用ウッドチップを使用した施工にしか対応できなかったのですが、気軽に使用できるようにホームセンター等で購入可能なウッドチップパーを使用して、新たな利用方法を開拓します。

これからの活動・行事

平成 29 年 9 月までは、助成によりウッドチップパーと発電機（写真右）を購入し、試験運転等を行いました。10 月以降、でき上がったウッドチップを使用して施工実験を行います。11 月になると気温の関係で固まらなくなるので、11 月以降はウッドチップパーの樹種による出来上がり状態の違いの研究とし、3 月以降、施工実験を再開します。早ければ 3 月中に、新技術の見通しが付きますが、市場に出すためには、さらに半年程度の時間が必要だと考えています。3 月中には、各サンプルづくりまでを推進目標としています。

